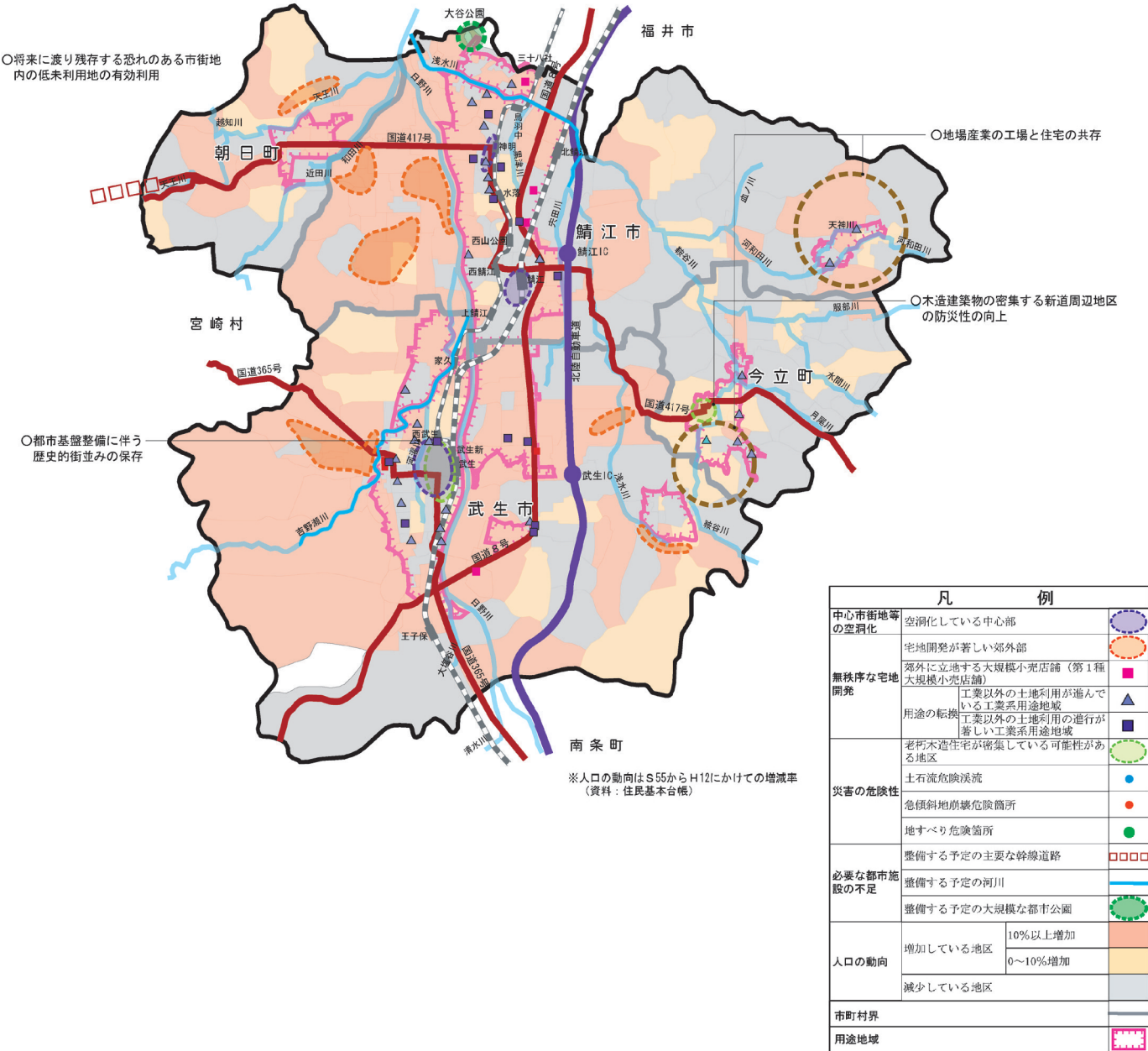


(3) 丹南都市計画区域

都市の現状と課題

本都市計画区域では、丹南圏域の中心として商業施設や業務施設が集積しているとともに、打刃物、和紙、漆器、木工および眼鏡等の伝統的な工業が地域に根ざしています。これらの伝統的な工業は、身近に住民の働く場を提供し職住近接による生活のゆとりをつくるためだけでなく、住民が地域への誇りや愛着を持つためにも、存続・活性化させていく必要があります。

- 武生駅、鯖江駅および神明駅の周辺の中心市街地における人口の減少や未利用地の増加等による空洞化の進行
- 都市東部や日野川の西部等の用途地域外への開発の拡散による市街地を包む田園等の自然的環境の喪失
- 老朽木造住宅等が密集する今立町の国道周辺地区等の防災性の向上
- 京町や本町等の武生駅近辺の越前国府の歴史が息づく良好な街並み、今立町の花筐公園周辺の良好な歴史的街並みの維持、防災性の向上
- 鯖江市の旧北陸道沿いや今立町の五箇地区等に点在する寺社や古墳等の歴史的遺産を活かした良好な街並みの形成



丹南都市計画区域マスタープランの内容

都市づくりの基本理念

1 伝統産業が息づき歴史や文化を育む都市づくり

「打刃物、和紙、漆器、木工および眼鏡等の伝統的な工業や丹南地域の中心的な役割を担う商業等の産業」、「越前国府の歴史が息づく武生市の京町や本町等の歴史的な街並み、鯖江市の旧北陸道沿いや今立町の五箇地区等に点在する歴史的・文化的な遺産および朝日町古墳群や泰澄大師に由来する歴史的遺産」および「三里山、村国山、日野川および天王川等の優れた自然環境」等の魅力的な都市の個性を守り・活かしながら、都市機能が向上していくように適切な土地利用や市街地の整備を行います。

期待される効果

- 都市の快適性、利便性および防災性の向上
- 人口や産業の流出の抑制
- 都心居住の回帰
- 都市の賑わいの創出
- 安心して暮らせる魅力ある都市空間の創出



京町地区の歴史的な町並み（武生市）



乙坂山を背景とした農村風景（朝日町）

2 持続可能な都市づくり

用途地域外では、都市計画に加え環境・農林・防災に係る土地利用の規制・誘導方策も活用しながら、地域の実情や望ましい地域像を勘案して、きめ細やかに都市的土地利用を抑制または制限していくとともに、中心市街地では、都市における人口や商業等の産業の見通しをふまえ、都市が活性化していくように、また歩いて暮らすことができるように土地を有効に利用し、また適切に市街地を整備していくことで、まとまりとめりはりのある市街地を形成していきます。

期待される効果

- エネルギー利用や公共投資の効率性の向上
- 農地等の里地や里山の自然的環境の保全
- 地域社会の維持
- 公共サービスに対する住民の負担の軽減
- 効率的な公共交通の運営
- 高齢者等の日常生活や社会活動の利便性の向上
- 既存の都市施設の遊休化の防止

3 都市間の連携による都市づくり

近畿圏や県内の各都市との連携を強化する広域交通網の整備を図り、また北陸本線や福武線の公共交通の利用を促進するとともに、複数の市町村の連携による都市施設の整備や維持、またはその有効利用を推進していきます。

期待される効果

- 交流人口の増大
- 都市の賑わいの創出
- 必要な都市施設の効率的な整備
- 財政負担の軽減

4 伝統的な工業を活かした都市づくり

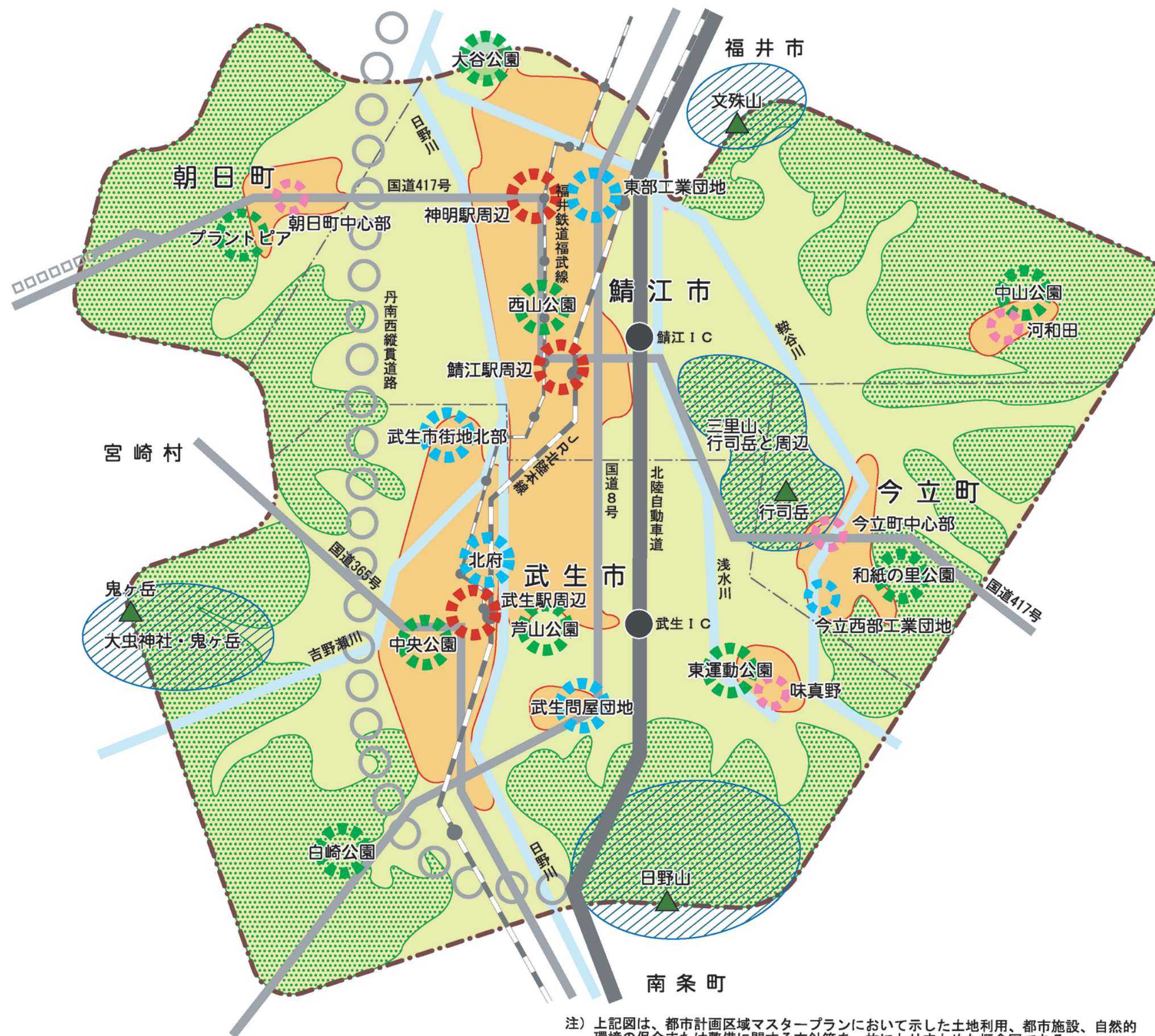
伝統的な工業の存続と良好な居住環境の保全の確保のために、伝統的な工業と居住環境が調和した土地利用や市街地整備を推進し、また、伝統的な工業の施設はその伝統を継承できるようにその施設が集積する地域の周辺に配置していきます。

期待される効果

- 生活のゆとりや良好な居住環境の維持
- 人口の流出の抑制
- 観光の振興



観光の拠点でもある和紙の里通り（今立町）



注) 上記図は、都市計画区域マスタープランにおいて示した土地利用、都市施設、自然的環境の保全または整備に関する方針等を一枚にとりまとめた概念図である。

魅力的な地域環境の維持・まとまりのある市街地形成に向けた土地利用

- 計画的に市街化を図る区域**
 - きめ細かく無秩序な市街化をコントロールし、現在の用途地域の範囲を基本としてまとまりのある市街地形成を図る。
 - 地域の実態・将来像に応じて市街地内の低未利用地の有効利用を図るとともに必要に応じて用途地域の転換を図り、適切な都市的土地利用を促す。
- 保全する山地・里山**
- 保全する田園等**
- すぐれた自然環境や景観を保全する地域**
 - 風致地区や緑地保全地区等の活用を図り積極的に保全する。

生活や産業の拠点づくり

- 丹南圏域での商業等の拠点**
 - 丹南圏域での拠点として商業施設・業務施設・公益施設等の集積を図るとともに、質の高い居住空間の形成を図る。
- 地域の商業等の主な拠点**
 - 地域の生活の拠点として維持・形成する。
- 工業・流通業務の主な拠点**

快適で安心な日常生活や機能的・創造的な産業活動を支える都市基盤づくり

- 都市間を結ぶ主要な幹線道路 (供用済み)**
 - 都市・地域間の連携・交流を支援する道路網の構築を図り、30分圏構想の達成を目指す。
- 都市間を結ぶ主要な幹線道路 (将来整備する予定の路線)**
 - 無秩序な宅地開発を誘発しないよう道路の位置・構造の調整または沿道の土地利用規制を図る。
- 都市間を結ぶ主要な幹線道路 (検討路線)**
- 主な河川**
 - 治水機能の確保、都市用水の安定供給、水と緑豊かな水辺空間の保全と整備を図る。
- 主なレクリエーションの拠点 (供用済み)**
 - 特に自然の潤いが不足している市街地で緑地の整備を推進し、30%以上の緑地の確保を目指す。
- 主なレクリエーションの拠点 (概ね10年以内に整備予定の都市公園)**

- 都市計画区域**
- 市町村界**
- 鉄道**